

羽生市

ぎかいだより



「藍染議会」を開催 (令和6年9月定例会市議会)

令和6年9月定例会

- 令和5年度決算を認定
- 一般質問に13人が登壇
- 会議規則・委員会条例を改正

羽生市議会のホームページを開設しています。

羽生市議会

検索 

目次

- 市政に対する一般質問・・・ 2P～8P
- 議案に対する質疑・・・ 9P～10P
- 審議案件と結果・・・ 11P
- 各常任委員会の経過・・・ 12P

市政に対する 一般質問

そこが…聞きたい



※一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されている二次元コードから、当該議員の動画をご覧いただけます。

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、9月5日、6日、9日の3日間にわたり13人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



小野田 和男 議員



中心市街地の道路整備は

- 質問 中心市街地の道路は南部幹線、北部幹線が出来たにもかかわらず、特に愛宕町通りは朝晩の交通量が多く、早急な道路整備が望まれている。そこで、次の点を伺う。
 - ① 中心市街地の道路、橋りよの整備計画について
 - ② 土地等を公共事業用地として売却した場合の税金の優遇措置について
 - ③ 現在までの愛宕町通りの道路整備の取組と地域住民の要望等について
 - ④ 愛宕町通りの道路拡幅事業の具体的な見解について
- 答弁 (まちづくり部長)
 - ① 中心市街地の道路に限定した整備計画はないが、市全体での都市計画法に基づく都市



城橋と愛宕町通り

計画道路は、令和5年度末で整備率76%となっている。平成25年度の66.3%から10年間で9.7ポイント進捗している。橋りようについては、羽生市橋梁長寿命化修繕計画で、現状維持に主眼をおいた補修工事計画を作成している。

る。協力いただける場合には、税控除の制度による負担の軽減の可能性もある。税控除は、不動産売却に関する税で、所得税等の国税が主であり、その都度、税務署との協議により決定することになっている。したがって、個別事案では税務署の判断が変わるため、一般的な税の優遇措置を事前に周知することは難しい。

- 開催日
 - 11月15日(金)～18日(月)
 - 〔大宮アルディージャカップ〕(都市)
 - 11月21日(木)～24日(日)
 - 〔本命バトル祭・日刊スポーツ杯〕(市田)
 - 12月1日(日)～4日(水)
 - 〔ポルトピア岡部カップ〕開設23周年記念第19回日刊ゲンダイ杯(都市)
 - 12月7日(土)～10日(火)
 - 〔マンズリーBOATRACE杯〕(市田)
 - 12月13日(金)～16日(月)
 - 〔DMM・comm杯〕(都市)
 - 12月20日(金)～25日(水)
 - 〔第42回関東日刊紙ポルトレース記者クラブ杯〕(市田)
 - 12月28日(土)～31日(火)
 - 〔第43回ゴールドカップ・デリースポーツ杯〕(都市)
 - 会場
 - ポートレース市田 (市田競艇場)
- ※都市…埼玉県都市ポルトレース 企業団主催
 ※市田…市田ポルトレース企業団主催
 ◎本場発売等についての詳細は、ポルトレース市田オフィシャルサイト等でご確認ください。



小林 誠弥 議員



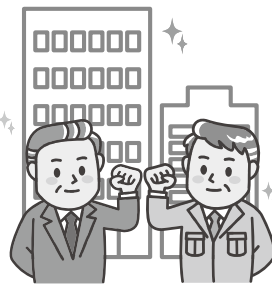
中小企業や個人事業主への支援は

・質問 市の活性化に緊密の
関係にある中小企業や個人事業主の現在置かれている環境は、急激な物価の高騰や人件費の上昇、さらには、コロナ禍に受けた融資の返済も始まり、大変厳しい環境に置かれている。そこで、次の点を伺う。

- ①現在の経済対策や支援策と今後の取り組みについて
- ②現在の創業支援策と今後の取り組みについて
- ③産業振興条例の制定について
- ④事業計画の承認を受けた企業に対する奨励金制度の導入について

・答弁（経済環境部長）

- ①現在、プレミアム商品券事業、住宅改修補助金事業、新規事業チャレンジ補助金事業等を行っている。国や県の補助事業については、事業者へ情報提供を行い、今後も引き続き活用したいと考えている。
- ②主な創業支援策は、創業支援ワンストップ窓口の設置や創業支援セミナーの開催、新規創業者へ補助金の交付を行っている。今後も既存の支援策の効果検証を行い、これ



らの取り組みを充実させたいと考えている。
③県内自治体の産業振興条例等の制定状況は、令和5年10月1日現在で27市町、42.9%である。本市の産業振興は、第6次羽生市総合振興計画後

期基本計画に基づき取り組んでおり、産業振興条例の制定については、他自治体の事例等を調査・研究し、判断したいと考えている。
④県では、新たな事業活動を通じて経営の向上を図るための「経営革新計画」の策定を推進している。本市では、計画の承認を受けた企業に対する奨励金制度はないが、新規事業チャレンジ補助金事業を実施しており、中小企業の活性化、成長支援につながっていると考えている。



昆 佳子 議員



おくやみコーナーの設置は

・質問 大切な家族を亡くされ、心身ともにつらい状態の遺族が、市役所でのさまざまな手続きに時間と労力をかけることは、どれほど苦痛に
なっているか計り知れない。遺族の負担を軽減するため、一つの窓口で完結できる「おくやみコーナー」の設置につ

いて、見解を伺う。
・答弁（総務部長）

県内での「おくやみコーナー」の設置状況は、現在、17市町で導入しており、全ての手続きを一つの窓口で行うワンストップ型や、受付を行なったのち順番に各担当課へ移動し手続きを行う案内型な

どがある。本市における現行の窓口支援は、まず、遺族にどのような手続きがあるのかを記載した「おくやみハンドブック」を、死亡届を受け付けた際に渡している。そして、



おくやみハンドブック

遺族が市役所を訪れた際は、必要となる窓口職員が案内し、担当職員が手続きに関する説明などを行い、次の担当課へつなげていく対応を行なっている。これは、案内型とほぼ同様の運用形態であると考えている。

一つの窓口で手続きが完結できる「おくやみコーナー」の設置は、設置場所の確保や広範囲の業務に精通した職員の育成等、解決しなければならぬ課題が多くある。しかし、本市の現在の対応では、

高齢の方や体の不自由な遺族にとっては、精神的、体力的負担が大きいため、遺族の負担軽減につながる取り組みは、市として検討していくべき課題であると認識している。今後、先進自治体の取組内容や効果等を研究し、ワンストップ型の「おくやみコーナー」の設置に関し、関係各課による横断的な検討を進めていきたいと考えている。

その他の質問

・HPV（ヒトパピローマウイルス）対策は



川田 真也 議員



太陽光発電設備(サンパーク村君)の盗難事件について

・質問 次の点を伺う。

- ①太陽光発電施設での銅電線の大規模な盗難被害について
- ②加入の損害保険について
- ③他の発電施設と市の発電施設の盗難対策の違いについて
- ④今後の防犯・盗難対策と復旧見通しについて

・答弁 (経済環境部長)

①太陽光発電施設での盗難事件は、運営開始からこれまでに5回の被害にあっている。

令和5年1月22日の3回目の盗難被害以降、銅線ケーブル等の工事資材の入手が困難であったことから復旧工事に着手することができず、さらに、復旧工事に併せて警備システムを導入する予定であったが、工事に着手できないことが、盗難被害は発生していない。民間発電施設には警備システムが導入されており、盗難の抑止力になっていることが要

ムを導入する予定であったが、工事に着手できないことが、盗難被害は発生していない。民間発電施設には警備システムが導入されており、盗難の抑止力になっていることが要



サンパーク村君

因であると考えられる。
④今後の対策としては、侵入者の感知や警察への通報を早期可能にし、犯罪への抑止力とするため、防犯カメラや赤外線センサーなどの警備システムの導入を計画している。復旧時期は、銅線ケーブル等の工事資材の入手に目途が立ったため、警備システムの導入も含めて、年内には復旧できる見通しである。

その他の質問

・EV充電器の設置と今後の対応は



増田 敏雄 議員



インクルーシブ教育を受ける権利と特別支援学級の運営方針は

・質問 インクルーシブ教育の推進について、次の点を伺う。

- ①特別支援学級の現状と課題
- ②インクルーシブ教育の現状と課題
- ③インクルーシブ教育の推進に向けての取り組み

・答弁 (学校教育部長)

①令和6年8月1日現在、市

内の全小・中学校に特別支援学級は設置されており、小学生116名、中学生44名、計160名の児童・生徒が在籍している。市内小・中学校に通う児童・生徒のおよそ4.8%にあたるものである。また、特別支援学級に在籍する児童・生徒は年々増加して

り、学級数の増加に伴う教育環境の整備や全教職員の特別支援教育に関する専門性の向上が課題であると考えている。
②本市では、通常の学級に在籍する児童・生徒を対象に、



障がいによる学習面や生活面における困難の改善・克服に向けた指導を行う通級指導教室を市内4校、計5教室を設置している。また、特別支援学級在籍の児童・生徒については、本人に必要な特別の支援を受けながらも、学校行事や交流授業をとおして、通常の学級の児童・生徒と学びを共にしている。課題については、教職員の専門性の向上等が挙げられる。

③教職員の専門性の向上を図ることを目的に、各学校の特

その他の質問

・「羽生花博」の開催の検討は



齋藤 万紀子 議員



ごみの削減に向けて

●**質問** 気候変動に伴う予測困難な異常気象が常態化しつつある中、熱中症や気象災害への対応と同時に、将来世代に対する自治体の責任として、ごみの排出量削減と再資源化の推進が求められている。また、令和10年度から稼働する行田市と合同の処理施設では、ごみの排出量によって処理負担額が決まることもあり、市民一丸となつてごみを減らしていくことが重要である。そこで、次の点を伺う。

①現在のゴミ排出量と、その処理経費について
②今後のごみ削減のための取り組みについて

●**答弁** (経済環境部長)

①市民一人が1日当たりに出すごみの排出量は、令和4年度実績で960g、県平均値は825gであった。人口減少の影響等により、ごみの総排出量は減少傾向にあるが、市民一人当たりのごみ排出量はなかなか減少せず、排出量の順位は県内63自治体のうち毎年度50位台である。処理経費は、清掃センターの維持管理費や焼却灰等の処分委託料などを含む中間処理費、基金積立の増額などの影響で増加

傾向であり、総額で平成28年度は8億円台であったが、令和4年度は11億円を超える状況であった。

②ごみ排出削減のための主な取り組みは、市広報やホームページでの周知に加え、生ご



み処理機器購入費に対する補助や、各地区の公民館やイオンモール羽生と連携し、食品ロス削減にも繋がるフードドライブ事業を実施している。また、各自治会でのごみの減量化などの取り組みは、地域でごみの適正処理などに関して、重要な役割を担っているクリーン推進員に対する研修会の内容などを変更し、地域でさらに活躍できるように工夫していきたいと考えている。

●**その他の質問**

給食に関する取り組みは



中島 直樹 議員



ドラマ、映画の撮影誘致等は

●**質問** 平成20年6月定例会の一般質問にて、羽生の魅力発信、経済振興、文化振興という視点から撮影誘致を提案した。これをきっかけとして、羽生市ロケーションサービスが設立され、最近では須影小学校が撮影場所になっていった。そこで、次の点を伺う。

①平成30年以降、市ホームページの撮影実績が更新されていない理由
②市内での主な撮影実績
③撮影に関する情報が周知されない理由
④経済効果の検証
⑤写真撮影会のルール作りについて

●**答弁** (経済環境部長)

①コロナ禍に撮影を行なった作品で非開示を求められたものがあつたため、更新を一時止めており、現状も更新されていない状態のままである。

②平成30年度は17件、令和元

主な撮影実績

種別	題名	撮影場所等
ドラマ	危険なビーナス	ウーゲルズ羽生
ドラマ	TOKYO MER	水質浄化センター
バラエティ	世界の何だコレ!?ミステリー	健ちゃん像
映画	翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～	陸上競技場
ドラマ	おいしい絵食	三田ヶ谷小学校
バラエティ	ダウンタウンのガキの使いやあらへんで	市内各所
ドラマ	仮面ライダー ガッチャード	水質浄化センター
ドラマ	海のはじまり	須影小学校

羽生市の撮影実績はこちら



年度は13件、令和2年度は19件、令和3年度は24件、令和4年度は13件、令和5年度は15件のドラマや映画、バラエティ番組などの撮影が行われた。

③撮影に関する情報は、制作会社へ告知の確認を行い、許可が出たものについて市の公式LINEで事前告知を行っている。

④撮影誘致における経済効果の検証は行っていないが、直接的な経済効果として、撮影の際には市内の飲食店の配達弁当を活用するよう案内し

ており、1日当たり10万円程度の経済効果が生じている。また、産業文化ホールや体育館等有料施設を利用する場合は利用料の収益も生じている。

⑤公共施設を、写真撮影会で利用する場合は、他市の状況も参考に、暴力や露出など公序良俗に反しない等の一定の規定を設け、企画書等を確認のうえ、個別判断できるように規定を設けたいと考えている。

●**その他の質問**

金山町との友好関係は



西山 文由 議員



重層的支援体制整備事業 について

・質問 次の点を伺う。

- ①介護、障がい、子育て、生活困窮等の相談状況
- ②これまでの取り組み状況及び主な担当課について
- ③近隣自治体の取り組み状況
- ④重層的支援体制整備事業の必要性と今後の取り組みについて

・答弁 (健康福祉部長)

①令和5年度の各分野の相談件数は、「介護」が市内3か所の地域包括支援センターで延べ5,734件、「障がい」が障がい者生活支援センターで延べ903件、「子育て」が市窓口で316件、子育て世代包括支援センター

で269件、家庭児童相談室で51件、市窓口での「生活困窮」が延べ184件、「生活保護」が延べ198件、「こころの健康相談」が延べ43件であった。

②令和3年10月に包括的支援体制の整備についての研修会を開催し、関係課の職員が参加し意識醸成を図った。事業の担当課は社会福祉課であるが、関係課の連携が必要であると考えている。

③県内では11市町が事業を実施しており、近隣の行田市で

は、令和6年4月から事業を開始している。

④重層的支援体制整備事業は、既存の制度では解決が困難な多様化・複雑化・複合化した地域社会の課題を解決するため、制度・分野を超えた

地域共生社会とは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をもに創っていく社会

包括的な支援体制を構築するものであり、「地域共生社会」の実現に当たって必要な事業であると考えている。現状、相談窓口は担当ごとに分かれているが、複合的な課題を抱える相談については、関係課で連携を取りながら対応している。今後、こうした取り組みを発展させ、外部関係機関との連携や自治会をはじめとする地域による支援を含め、市の実情に応じた支援体制の整備を目指したいと考えている。



田口 さとる 議員



ラウンドアバウトの効果は

・質問 須影地区にラウンドアバウトが導入されてから7年が経過した。そこで、次の点を伺う。

- ①交通状況の改善について
 - ②市道への導入について
- ・答弁 (まちづくり部長)
- ①ラウンドアバウトは、車両の通行部分が円形で信号機が

無く、時計回りに通行する構造となっている環状交差点である。須影地区のラウンドアバウトは、危険な急カーブを含む5本の道路の交差点に、イオンモール羽生へ往來する車両の渋滞や交通事故発生

の危険性が増したため、この状況を改善するために平成29年



須影地区のラウンドアバウト

3月末に供用開始されたものである。

交通事故の状況は、平成26年から平成30年までの物損事故が5件、令和元年から現在までの物損事故が2件である。事故が減少している現状

から、整備により安全性が向上したものと考えている。また、車両の流れがスムーズになり渋滞も発生しづらくなっている。さらに、歩道が整備され歩行者の安全性、利便性も向上している。

②ラウンドアバウトの適用条件に、「その交差点への総流入交通量が24時間で1万台未満」であることが、国から示されている。また、環状部の標準的なサイズは直径27mで、この円を造るための用地の確保が必要となる。さらに、

交通量が多い市道で、現状の交差点形状が変則で複雑、あるいは見通しが悪く改善が必要な交差点で、信号による改良より効果的であると判断できれば、導入のための事前調査が必要になる。今後、ラウンドアバウトの導入による効果が期待できれば、地域の意見を伺いながら、進めていきたいと考えている。

その他の質問

・市内宅配サービス事業は
・小・中学校に外国人クラス
の設置を



島村 勉 議員



東武鉄道車両基地予定地の活用は

・質問 東武鉄道車両基地予定地は、平成12年に用地取得や諸手続きが完了後、早や24年が経過した。この間、具体的な進展はなく、現在に至っている。そこで、これまでの進展状況及び今後の取り組みと課題について伺う。

・答弁(まちづくり部長) 東武鉄道は、平成12年に車両基地を建設することで諸手続きを経て工事に着手したが、将来の鉄道旅客状況等を検討した結果、車両基地を建設する必要性がないとの経営判断を行い、他の土地利用への転換の検討を継続的に行

なってきた。他の土地利用への変更は再度、国や県との協議が必要であり、市としても、前向きに協議を重ね、平成30年度策定の第6次総合振興計画において、工業系・流通系ゾーンに位置づけの見直しを行い、継続的に同社と協力しながら、県や関係機関との事前協議などの意見交換を進めてきた。

さらに、令和6年3月に北部幹線が開通し、土地利用の転換について県との協議が加速できる状況が整ったことなどを踏まえ、令和6年4月1日に都市計画法第34条第12号区域に指定し、工業系・流通系への土地利用ができる法的整理を行なった。現在、東武鉄道では、諸手続きをスムーズに進めるべく事業スキーム

の整理や、進出希望の企業を募集・調査している状況とすることであり、今現在、進出を希望する企業が何社か存在すると伺っている。今後、さらに東武鉄道と関係機関との協議を進めるためには、進出する企業が決まることが重要となるため、市としても、早期に有効な土地利用が図れるよう、働きかけを続けていきたいと考えている。

その他の質問
・羽生西公園の整備計画は



東武鉄道車両基地予定地



柳沢 暁 議員



公共施設への太陽光発電設備等の導入推進を

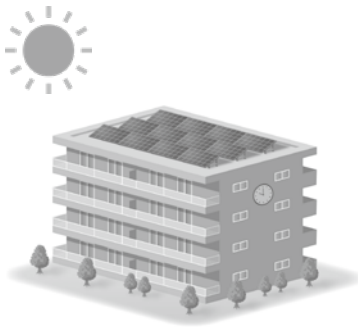
・質問 令和5年度に「公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査」を実施し、導入効果の高い5施設を選定した。そこで、次の点を伺う。
①調査結果の概要
②費用対効果
③二酸化炭素排出量の削減効果
④太陽光発電設備等の設置予定

・答弁(経済環境部長) ①本調査は、市の公共施設に対し太陽光発電設備や蓄電池等の設置が可能かどうかを調査したものである。年間電力使用量の多さや避難所としての指定の有無、洪水浸水想定区域などを基に、導入した場合に効果が高い5施設(市体

育館、水質浄化センター、西中学校、南中学校、図書館・郷土資料館)について、太陽光発電設備の配置図やシステム系統図、概算工事費などの情報を整理した。

②国の補助金以外の費用を市が全て負担して設置した場合、5施設20年間の合計で、およそ7,000万円程度の赤字が出るのが想定される。しかし、本調査は、あくまで国の補助金以外は全て市が負担して導入する場合の最大値を想定しており、導入する際は、可能な限り設置工事費や維持管理費などを安く抑える工夫が必要と考えている。また、導入施設の選定については、温室効果ガス排出量の削減や災害時の対応力強

化などのメリットが見込めるため、経費面での費用対効果と比較し、検討する必要があると考えている。
③5施設全てに太陽光発電設備を導入した場合、5施設における温室効果ガスの年間排出量1,045トンに対し、約15%となる年間155トンの削減を見込んでいる。
④5施設の中で、特に電気の使用量が多く、災害時にも稼働する必要がある水質浄化センターについては、優先的に検討を進めている。



量削減や災害時の対応力強化などのメリットが見込めるため、経費面での費用対効果と比較し、検討する必要があると考えている。



野中 一城 議員

障がい者の就労支援は

・質問 次の点を伺う。

①北埼玉障がい者就労支援センターの活用状況

②羽生市役所における障がい者の法定雇用率及び障がい者雇用の取り組み

③民間企業に対する障がい者雇用の促進に向けての取り組み

④羽生市独自の障がい者就労

支援事業

・答弁 ①③④健康福祉部長、

②総務部長

①同センターの令和5年度の相談支援利用者数は56名であり、そのうち、一般就労をした方は13名、就労継続支援A型事業所へ就労をした方は1名であった。

②本市の令和6年度の障がい者雇用率は2.06%で、法定雇用率(2.8%)の達成には至っていない。障がい者雇用については、身体障がいのほか、精神障がい及び知的障がいのある方を職員募集の対象に加えるなど、雇用機会の確保並びに障がい者雇用の拡充に取り組んでいる。また、障がいのある職員に対し職場満足度に関するアンケートを行い、該当職員がより働きやすい環境の整備に努めている。

③民間企業に対して、北埼玉

障がい者就労支援センターによる働きかけや、早期離職対策として、職場体験や実習の実施を促す取り組みを行っている。さらに、就労継続支援事業所や医療機関等と、障



がい者雇用の現状や地域のニーズや課題について、情報の共有を図っている。
④障がい者就労支援については、第4期羽生市障がい者計画に基づき実施している。市としては、就労支援の基本的な施策を着実に推進することにより、障がいのある方の就労、そして定着につなげていきたいと考えている。また、先進自治体の事例研究や関係機関等との情報交換などを通じ、より効果的な取り組みについて検討していきたい。



丑久保 恒行 議員

熱中症対策は

・質問 次の点を伺う。

①小・中学校における熱中症対策の現状

②高齢者への熱中症対策の現状

③IT技術を活用した熱中症対策

・答弁 ①学校教育部長、②健康福祉部長、③企画財務部長

①熱中症事故を防止するた

め、保健での生活習慣、食事、身の回りの環境整備の学習に加え、児童・生徒自らが熱中症防止対策を講じることができると指導している。また、各種活動実施に関する判断については、県立学校版熱中症対策ガイドラインの暑さ指数(WBGT)に応じた行動指

針にのっとり、児童・生徒の安全確保を最優先とするよう指導している。
②高齢者の熱中症予防には、家族や周囲の人々による見守りや声かけ等が重要であると考えている。「いきいき百歳

体操」や「はつらつ教室」などの参加の機会に、熱中症の注意喚起や発症した場合の対処法などについて、正しい知識の普及啓発を行なっている。
③本市のIT技術を活用した対策として、防災無線と連動したメール配信サービスや防災アプリ「防災はにゅう」にて、熱中症注意喚起情報などのお知らせを配信している。また、群馬県太田市では、LORAWAN通信網を活用した取り組みが進められている。この取り組みは、市内の

LoRaWANとは
「Long Range Wide Area Network」の略称
で、低消費電力で長距離のデータ通信を可能とする技術

全小・中学校の体育館に温度・湿度を計測するセンサーを取り付け、LORAWAN通信網により計測したデータを遠隔で確認できるようにすることもできる。
こうした先進的なIT技術の導入は、一定の有用性があるものと考えられるが、相応の費用を要することから、本市の置かれた環境も考慮し、技術導入の効果について検討する必要があると考えている。

その他の質問

・学校再編成計画は

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会では、次の議員によって行われました。

○議案第59号 令和5年度
羽生市一般会計歳入歳出決算

野中一城 議員

水害対策等工事請負費は、南中学校校庭に流域の浸水被害の軽減を図るため校庭貯留施設を整備するもの。

・質疑 効果について

・答弁 (まちづくり部長)

南中学校の校庭貯留施設は、校庭の周囲に堤を築き、校庭に降った雨を一時的に貯留し、雨水の河川への流出を抑制する施設である。貯留量は1,168立方メートル、25メートルプール約3杯分に相当し、溜めた雨水は、流量を調整する柵から、約23時間かけて排水される。8月29日からの降雨では、翌日、校



南中学校の校庭貯留施設

庭内に雨水が溜まっていることを確認した。整備前、校庭からの排水は、ストレートに道路側溝や水路に流れていたが、整備後はゆつくりと排水されることで排水路への負担が軽減されたものと考えている。

その他の質疑

・議案第64号

柳沢 暁 議員

農林公園指定管理料は、三田ヶ谷農林公園が令和5年度から指定管理者による管理運営となるための費用。

・質疑 来場者数及び売上について

・答弁 (経済環境部長)

レストランの令和5年度来場者数は、1,547人/月、前年度より25%増、売上も約127万円/月で33%増となった。農業物産館の令和5年度来場者数は、約20万4千人、前年度より6%減、売上も7,143万円で6%減となっている。

・質疑 事業効果について

・答弁 (経済環境部長)

レストランで羽生産のお米や野菜を使用することで、地元農産物の消費拡大などの効果があった。また、指定管理者は市内事業者と連携して新たな集客効果のあるイベントを開催しており、地域経済の活性化に寄与しているものと考えている。

その他の質疑

・議案第66号

斎藤 万紀子 議員

障がい児保育事業費補助金は、障がい児を受け入れる保育所等の運営を支援するもの。

・質疑 保育事業の支援内容と支援人数について

・答弁 (健康福祉部長)

この補助金は、障がい児の受け入れに取り組む保育所、認定こども園等に、四肢の欠損など身体の障がいや相互的に人とのかわりに弱さが見られる社会性の障がいなどがあられる障がい児の心身発達の特長に応じた保育を安定的に実施できるように、知識や経験のある保育士の配置を行い、障がい児の保育サービスの向上を図るために必要な支援をするものである。

令和5年度の支援人数は、身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている児童のうち、特別児童扶養手当の支給を受けていない軽度障がい児が6人、支給を受けている重度障がい児が2人となっている。

その他の質疑

・議案第62号

○議案第64号 令和5年度
羽生市水道事業会計利益の
処分及び決算

田口 さとる 議員

水道の施設整備事業は、配水管布設工事などを行うもの。

・質疑 老朽管布設替え及び新設管布設が令和4年度より増加した理由について

・答弁 (まちづくり部長)

令和5年度の老朽管布設替えの実績は、約377メートルで前年度より約267メートルの増、新設管布設の実績は、約2,098メートルで前年度より約335メートルの増となった。石綿セメント管を耐震性のあるダクタイル鑄鉄管にする老朽管布設替えが増えた要因は、岩瀬土地区画整理事業地内の配水管布設工事に合わせ、老朽管の布設替えを施工できたためである。また、新設管布設が増えた要因は、岩瀬土地区画整理事業地内北工区において、新たな企業誘致に必要な水道管の布設を行なったためである。

その他の質疑

・議案第59号、第69号

○議案第66号 令和6年度
羽生市一般会計補正予算
(第4号)

中島直樹 議員

弥勒北地区ほ場整備基礎調
査業務は、事業対象区域を拡
大する方針に変更となったた
め、区域拡大分の調査を実施
するもの。

・質疑 変更となった理由に
ついて

・答弁 (経済環境部長)

変更となった理由は、①計
画区域に隣接する地権者等か
ら、ほ場整備事業に加えてほ
しいとの要望が多く寄せられ
たこと、②担い手候補者が希
望する耕作面積が足りないこ
と、③事業区域を拡大するこ
とで、より効果的な道路や用
排水路の整備が可能となるな
ど経営効率の改善が図られ、
事業効果が高まると見込まれ
るためである。以上の理由か
ら、協議を重ねた結果、対象
区域を拡大することで、弥勒
北地区の農業が持続的に発展
すると判断したものである。

その他の質疑

・議案第59号

教育委員会委員の
任命に同意

教育委員会委員のうち、
田村和代委員の任期が9月30
日をもって満了となるため、
引き続き同氏を任命したいと
して、市長から同意を求めら
れました。

市議会では、同氏を適任と
認め同意いたしました。

監査委員の選任に
同意

渡邊義弘監査委員の任期が
9月30日をもって満了となる
ため、鈴木康夫氏を新たに選
任したいとして、市長から同
意を求められました。

市議会では、同氏を適任と
認め同意いたしました。

人権擁護委員候補
者の推薦に同意

人権擁護委員の齋藤きよみ
氏、大塚喜美子氏、杉田美佐
江氏の任期が12月31日をも
つて満了となるため、引き続き
三氏を推薦したいとして、市
長から意見を求められました。

市議会では、三氏を適任と
認め同意いたしました。

パレスチナにおける人命
保護と平和実現を求める
意見書を国へ提出

イスラエル軍とパレスチナ
のイスラム組織ハマスの軍事
衝突により、パレスチナ自治
区ガザ地区の危機的状況は厳
しさを増し続けています。パ
レスチナの一刻も早い長期的
な停戦は誰もが望むところで
あり、今こそ全ての当事者、
関係各国、国際機関が、即時
停戦の国際世論を高めるため
に行動することが強く求めら
れています。

よって、国においては、パ
レスチナにおける人命保護及
び一刻も早い平和と自立した
復興を実現するため、関係各
国及び国際社会との緊密な連
携のもと、即時停戦及び恒久
的な平和合意の締結に向けた
適切な外交努力を積極的に講
じることを強く求めます。

このような考えのもと、議
員提出議案として意見書が上
程され、賛成全員で可決され
ました。

本意見書は、衆・参議院議
長、内閣総理大臣、内閣官房
長官及び外務大臣に提出いた
しました。

議会のデジタル化を図る
ため、会議規則等を改正

議員提出議案として上程さ
れた「羽生市議会議規則の
一部を改正する規則」及び「羽
生市議会委員会条例の一部を
改正する条例」が、全員賛成
で可決されました。

羽生市議会議規則の一部
を改正する規則については、
議会における手続き及び委員
会等の開催を、オンラインに
よる方法で行うことを可能と

するための規定を新たに設け
たものです。
また、羽生市議会委員会条
例の一部を改正する条例につ
いては、委員会における手続
きを、オンラインで行うこと
を可能とするともに、大規
模な災害の発生や感染症のま
ん延、育児・介護などやむを
得ない事由により委員会に参
集することが困難な場合に、
オンラインでの委員会への出
席を可能とするための規定を
新たに設けたものです。

12月定例市議会のご案内

12月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
11月26日	火	午前9時30分	本会議初日(開会)
11月27日	水		
11月27日	水		議案調査等のため休会
12月3日	火		
12月4日	水	午前9時30分	本会議(議案に対する質疑) (市政に対する一般質問)
12月5日	木	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
12月6日	金	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
12月7日	土		休日のため休会
12月8日	日		休日のため休会
12月9日	月	午前9時30分	各常任委員会
12月10日	火		
12月12日	木		事務整理のため休会
12月13日	金	午前9時30分	本会議最終日(閉会)

※12月定例市議会の日程は、11月21日(木)に開催予定の議会
運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

9月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

新令和…新令和会 瑞藤…瑞藤会 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派
【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and 審議結果, with rows for individual council members: 小林誠弥, 小野田和男, 西山文由, 増田敏雄, 松本敏夫, 丑久保恒行, 川田真也, 田口さとる, 昆佳子, 野中一城, 柳沢暁, 島村勉, 中島直樹, 齋藤万紀子.

議員提出議案

Table with columns for 議案番号, 議案名, and 審議結果. Items include: 議第3号 羽生市議会会議規則の一部を改正する規則, 議第4号 羽生市議会委員会条例の一部を改正する条例, 議第5号 パレスチナにおける人命保護と平和実現を求める意見書.

※議長は表決に加わりません。

市長提出議案

Table with columns for 議案番号, 議案名, and 審議結果. Items include: 第59号 令和5年度羽生市一般会計歳入歳出決算, 第60号 令和5年度羽生市国民健康保険特別会計歳入歳出決算, 第61号 令和5年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計歳入歳出決算, 第62号 令和5年度羽生市介護保険特別会計歳入歳出決算, 第63号 令和5年度羽生市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算, 第64号 令和5年度羽生市水道事業会計利益の処分及び決算, 第65号 令和5年度羽生市下水道事業会計決算, 第66号 令和6年度羽生市一般会計補正予算(第4号), 第67号 羽生市国民健康保険条例の一部を改正する条例, 第68号 羽生市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例, 第69号 羽生市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例, 第70号 羽生市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて, 第71号 羽生市監査委員の選任につき同意を求めることについて, 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(1), 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(2), 諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(3).

▼令和5年度 決算を認定

○各会計の歳入歳出決算額

Table with columns: 会計名称, 歳入決算額, 歳出決算額. Rows include: 一般会計, 国民健康保険特別会計, 中小企業従業員退職金等共済事業特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計.

決算の概要はこちら↓



各常任委員会の経過

総務文教

委員会に付託された案件は、議案3件でした。

議案第59号令和5年度羽生市一般会計歳入歳出決算の審査では、歳入、諸収入において「サンパーク村君は、3回目の盗難被害以降、修繕をしていないため、令和5年度の太陽光発電による電力売払収入がない状況である。なぜ修繕しなかったのか伺う。」との質疑に対して、「銅線ケーブル等の工事資材の入手が困難な状況であるため、対応が遅くなっている。セキュリティ対策も行いながら、可能な限り早急に修繕をして売払収入を確保したいと考えている。」との答弁がありました。

次に、教育費において「公民館の無線LAN整備が完了したとのことだが、毎年度固定費が必要になるのか、また、無線LANを整備したことにより、今後取り組み内容について伺う。」との質疑に対して、「固定費として無線LAN回線の使用料約164万円、保守委託料99万円が毎年必要になる。また、令和5年度に引き続き令和6年度も公民館にてスマホ講座を開催しており、デジタルデバイス等の解消に取り組んでいる。今後、公民館利用者等に無線LANが整備されていることを周知するとともに、サークル活動の中でもインターネットを活用していただきたいと考えている。」との答弁がありました。



審査結果を報告する斎藤委員長

委員会では、これらの審査の結果、付託議案3件はいずれも原案のとおり認定、可決すべきものと決しました。

都市民生

委員会に付託された案件は、議案10件でした。

議案第59号令和5年度羽生市一般会計歳入歳出決算の審査では、民生費において「送迎バス安全装置設置事業について、事業の詳細を伺う。」との質疑に対して、「本事業は、送迎バスの車内に子どもが置き去りになることを防ぐため、バスに安全装置の設置が義務化されたことを受け、その設置費用について、市内4施設に補助したものである。装置については、バスのエンジン停止後、車内確認を促す音声案内が流れ、車両後方の確認ボタンを押さないと、警告ブザーが鳴り響く仕組みである。」との答弁がありました。

次に、議案第60号令和5年度羽生市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の審査では、「令和5年度の特定健康診査受診率が32.8%と低いが、どのように分析しているのか伺う。」との質疑に対して、「令和5年度は、特定健康診査の期間を2か月間延長して9か月間としたが、受診率の向上につながらなかった。受診率が低い要因としては、被保険者全体が減少していることもあるが、期間延長の周知が不足していたことが考えられる。受診率の向上に向け、若年層に向けたPRを関係機関とも連携して積極的に行なっていくたいと考えている。」との答弁がありました。

UD FONT

羽生市ぎかいだよりは、高齢者や視覚の弱い方でも誤読の少ない書体「ユニバーサルデザインフォント」を使用しています。

《議会広報委員会》

委員長 松本 敏夫
副委員長 中島 直樹
委員 丑久保 恒行
委員 斎藤 万紀子
委員 西山 文由

〓ご意見などを
議会広報委員会まで

☎048(561)1121
(内線) 513

9月定例市議会傍聴者数

8月27日	0人
9月4日	1人
5日	24人
6日	14人
9日	7人
24日	0人
計	46人でした。

常任委員会傍聴者数

9月10日	0人
11日	0人
12日	0人
計	0人でした。